

平成29年度 学校法人 今川学園 事業報告書

1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18
電話番号 072-337-1580
ファックス 07-336-3843
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園
定員480名
実員368名 (平成28年度 355名)

④理事長氏名：今川公平
*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況

木の実幼稚園：教員28名(非常勤2名) 職員1名 派遣職員5名
給食調理担当4名

平成29年度新規採用者4名
平成28年度 退職者2名

2、平成29年度 木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	平成29年	幼稚園児実員368名	
	3歳児	6クラス	126名 前年度111名
	4歳児	5クラス	119名 前年度127名
	5歳児	5クラス	123名 前年度117名
	未就園児クラス		40名 前年度 55名
	総合計		408名 前年度410名

②教育目標及び方針

【教育目標】

a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のこととも思いやる事が出来る。

b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、
喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。

b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。

c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。

d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。

e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。

f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。

g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40
Bグループ 10:10～14:40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

④保育料及び諸経費

- 保育料: 全学年27,400円/月 (給食費4,400円を含む)
- バス協力費: 4,120円/月

⑤入園時の費用

- 入園料: 1,2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費: 20,000円

⑥預かり保育

- 月～金曜日: 13:40～17:00
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施状況

- 4月／入園式、始業式
- 5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月／プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月／夏休み、地藏祭り、夏季保育、宿泊保育
- 9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園3回、入園説明会
- 10月／運動会、参観日
- 11月／秋の遠足
- 12月／音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式
- 1月／始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月／節分、造形展、入園説明会
- 3月／雛祭り、お別れ遠足、卒園式、参観日、終業式

⑧実施した主な事業の概要

- ・教職員の待遇改善の為、給与の5%平均のベースアップを実施した。
- ・給与のベースアップの財源として、保育料の全学年同一の27、400円とした。
- ・施設の安全対策として、南、西園舎の廊下、階段を全面タキロン樹脂シートでカバーする工事、およびデッキ前広場・アトリエ棟・職員室棟周囲に人工芝とゴムチップを敷く工事を実施した。
- ・南、西、東棟の12教室のエアコンを最新型に総入れ替えを行った。
- ・未就園児クラスにオープンクラスを設定し、広く未就園児が親子で園に来る機会を提供し、また東京のおもちゃライブラリーと提携し、「おもちゃ広場」を実施。他、園児保護者によるアロマセラピー教室、料理相談教室も行った。
さらに、松原市とも提携し、「園庭開放」事業も月一回実施した。

3、財務の概要

☆園児数は3歳児以上で前年度比プラス15名でスタートし、2歳児未就園児クラスでも定員いっぱいの40名の利用者を数え、園児数は過去5年間で最高の数字となった。またクラス数は16クラスに増え、預かり保育の教室をホールの一部を改装して実施した。

半面、未就園児クラスや子育て支援事業、預かり保育実施を安定的に行うには、教室数が不足しており、大きな課題である。

☆園児数の増加と保育料の全学年同一料金の結果、決算値で29年度の経常収支は事業活動収支で1280万プラスを確保でき、経営の安定は一定確保できている。

☆昨年度も指摘したが、認定こども園化(言い換えると保育所機能の付加)しない中での園児数の増加は、質の高い幼児教育に対する保護者の要望と、本園に対する期待が依然として高いことを示していると考えられ、一層の教育の質の充実、教職員の質の向上によってこれに応えなければならない。